



令和5年5月24日
松山河川国道事務所

災害支援活動のスキルアップを目指して！

～「災害対策用機械類及び情報通信システムの操作訓練」を実施～

災害復旧支援活動を行う人材育成とスキルアップを目的として、災害支援用の特殊機械や情報通信システムの操作訓練を下記のとおり実施します。

・実施日時

令和5年5月31日（水）13：15～16：30

・実施場所

重信川河川敷〔松山自動車道高架橋下付近〕

[〈資料－1〉操作訓練実施場所](#)を参照ください。

・訓練対象者

国土交通省職員、愛媛県内自治体職員、関連土木業者（約40名）

・訓練対象機械類

- | | |
|---------|----------------------|
| ① 対策本部車 | ⑤ 衛星通信車（Ku-SATⅡ） |
| ② 待機支援車 | ⑥ 可搬型衛星通信装置（Ku-SATⅡ） |
| ③ 標識車 | ⑦ 災害対策用機械の各種搭載機器 |
| ④ 照明車 | |

[〈資料－2〉訓練実施状況写真](#)（過去の訓練の様子です。）

各機械の概要、目的は[〈資料－3〉災害対策用機械概要](#)を参照ください。

・その他 当日は上記の時間帯に取材可能です。現地へお越しください。

小雨決行。ただし、台風・大雨等の場合は中止します。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への『支国』防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先： 四国地方整備局松山河川国道事務所防災課

副所長（河川）：酒巻 政夫 （内線：204）

◎ 防災課長：富永 健介 （内線：281）

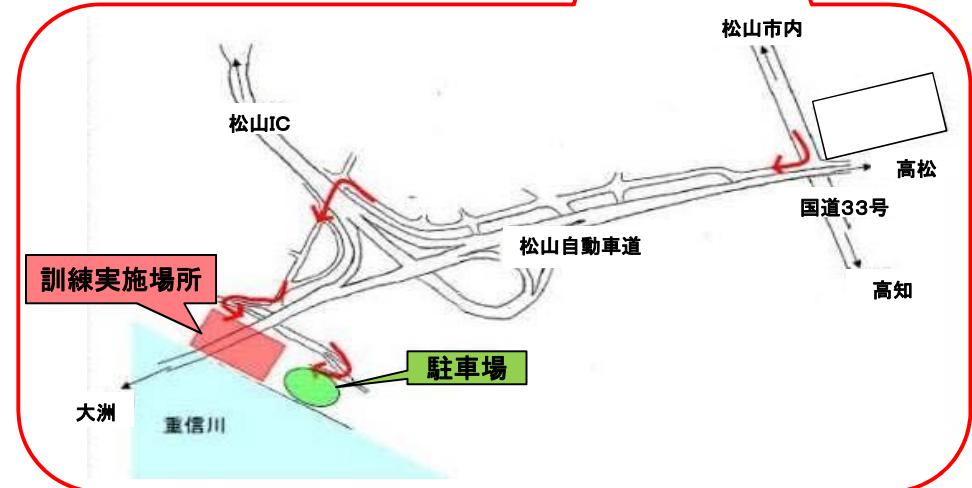
防災課直通 089-972-7289

◎：主な問い合わせ先

操作訓練実施場所



この地図は、国土地理院の地理院地図に加筆したものです。



<資料－2>



照明車説明実施状況



標識車説明実施状況



過去の訓練実施状況写真

災害対策用機械概要

<資料-3>

対策本部車



対策本部車(拡幅型)

機械概要 トラック車体を両サイドに拡幅可能とし、対策本部として使用できるようにした車両

使用目的 災害における現地の対策本部、指揮、情報連絡、広報活動の拠点

■車体を両サイドに拡幅することで現地での対策本部としてのスペースを提供
■装備品 会議机、椅子、TV、簡易トイレ、簡易ベッド(2~8名分座席兼用)、通信設備等
■拡幅型 四 挑 松山 土佐

照明車



照明車(Ku-SATI)

機械概要 トラックの荷台に照明装置と発動発電機を搭載した車両

使用目的 災害現場での夜間照明確保

■照射高は 2 kW × 6 灯 (又は1.2 kW)	■最大20.3m	■徳島×6 那賀川×2 香川×2 四国×2
■CCTVカメラによる 画像撮影が可能	■松山×3 大洲×3	■高知×3 中村×4 土佐×3

標識車



標識車(LED昇降式)

機械概要 車体後部に大型LED標識装置を搭載した車両

使用目的 災害時や現道工事での一般通行車両の誘導、情報提供、広報活動等

■運転席の操作盤より、表示内容を容易に変更可能
■標識装置を上昇させることで視認性を向上
■徳島 香川 松山 土佐

待機支援車



待機支援車(バス型ベッド数4)

機械概要 マイクロバス内部を人が待機・休憩できるように改造した車両

使用目的 災害現場での待機、休憩、打合せ等

■マイクロバスを改造した車両
■装備品 TV、簡易ベッド、簡易トイレ、電信設備等
■徳島 那賀川 四 挑 松山 大洲 中村 土佐×2

衛星通信車 (Ku-SATII) & 可搬型衛星通信装置 (Ku-SATII)



衛星通信車 KU-SATII

機械概要 静止衛星を利用して、映像等を送受信できる装置

使用目的 災害現場の状況を、映像・電話・データ通信により災害対策本部に伝える。

■災害現場の映像をリアルタイムで送信可能
■衛星通信車
■車両に搭載している発電機により、災害現場の長期間監視が可能
■可搬型衛星通信装置
■小型・軽量なため、ライトバン等に積み込み、人力で災害現場に持ち込み設営する。

災害対策用機械配備参考図



災害対策用機械事務所別配置表